

クマムラ

球磨村

総人口…1,844人 男…901人 女…943人 世帯数…820世帯

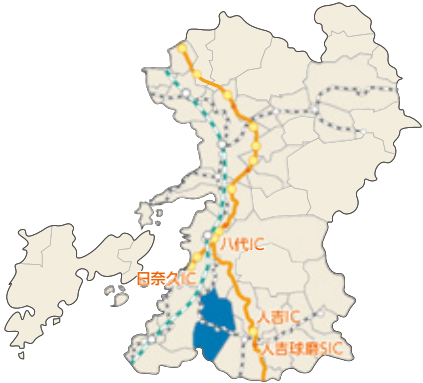
〈人口構成比〉 15歳未満…8.9% 15～64歳…41.8% 65歳以上…49.3%

※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



松谷 浩一 村長

球磨村は、日本三大急流の一つである球磨川が東西に流れる、自然豊かな村です。この豊かな自然を大切に、自然とともに生活を営んできましたが、令和2年7月豪雨は、村全域に甚大な被害をもたらしました。大災害発生後に、人口が大きく減少した球磨村ですが、人口減少に歯止めを掛けるため、移住者用の住宅整備や、賑わいづくりの拠点施設整備を計画しています。ぜひ、球磨村の創造的復興にご協力頂きますようお願い申し上げます。



寄附御礼

・贈呈式開催(首長出席、寄附額30万円以上)

・感謝状贈呈(寄附額30万円以上)

・功労者表彰推薦

・地公体広報誌掲載

・HP掲載

・紺綬褒章推薦

・視察受入

・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー2 過疎対策・定住移住

熊本県内人口減少率ナンバー1からの脱却！

球磨村は令和2年7月豪雨をきっかけに、人口流出が加速したことで、人口減少率が熊本県内で最も高い自治体となりました。本村では、人口減少に少しでもブレーキを掛けたいとの想いから、様々な人口減少対策に取り組んでいくこととしています。具体的には、空き家・空地の活用や、移住者への住宅取得補助金、リフォーム補助金の創設を行い、移住しやすい環境整備を進めていきます。



被災者向け住宅団地の造成(塚ノ丸団地)



カテゴリー8 まちづくり

【脱炭素】×【まちづくり】にぎわいづくり創出へ

令和2年7月豪雨を受け、地域の商店やコミュニティ施設が被災し、現在は更地となっています。人口流出とも重なり、村の活力が失われつつありますので、渡地区において、賑わいづくりに取り組んでいくこととしています。今後、復興祈念公園、遊水地運動公園等を整備し、人の流れを創ることで、賑わいを取り戻していく予定です。また、整備施設については、村内で発電したグリーンエネルギーを使用していくこととしています。



脱炭素先行地域事業(森林組合製材所)

球磨村デジタル田園都市構想総合戦略

輝き・活力・誇りを未来へ

基本目標

1

地域資源を活かした「しごと」づくり

球磨村ならではの農林環境資源を最大限に活用し、農林業や観光振興による「しごと」づくりに取り組みます。デジタルの力も活用し、地域課題の解決を図りながら雇用創出を推進します。

基本目標

2

移住・定住の促進による「ひと」の流れづくり

令和2年7月豪雨により激減した人口を増加に転じさせるため、むらの認知度や魅力向上に取り組み、「ひと」が集まる移住定住施策を推進します。また、関係人口の創出に積極的に取り組みます。

基本目標

3

若い世代の希望をかなえる「むら」づくり

結婚・出産・子育て支援策の充実を図り、若い世代が希望を持って暮らしていけるような「むら」づくりに努めることで、選ばれる「球磨村」を目指します。

基本目標

4

村民が住み続けたいくなる、魅力ある「むら」づくり

子どもから高齢者まで、どの世代になっても住みやすく、暮らしやすい村づくりを進め、いつまでも住み続けたいくなる、魅力ある「むら」づくりに取り組んでいきます。

球磨村

重点プロジェクト

令和2年7月豪雨からの復興「球磨村復興祈念公園」整備事業

総事業費

1,800,000,000(概算) 寄附目標額 —

数値目標

●交流人口…………… 15万人
●物産館売上額 …… 1億円

〈SDGs〉関連するゴール



球磨村は、令和2年7月に大規模な豪雨災害が発生したことで、多くの方が、安全な住まいを求め、村外へ転出されました。人口減少率は熊本県内でもトップとなっており、地域のコミュニティ機能が弱まり、村全体の活力が失われつつあります。

このようなことから、本村では、復興祈念公園、災害伝承施設、物産館等を複合的に整備し、賑わいの核となる拠点施設の整備を計画しています。村外からの教育旅行や研修旅行、ラフティング客等を広く受け入れ、人の流れを創っていきます。



球磨村復興祈念公園整備予定地(渡小跡地)

寄附の具体的なメリット

感謝状の贈呈式(30万円以上)。施設への寄付企業ネームプレートの設置(100万円以上)。広報紙・ホームページでの企業名公表。賑わいづくりの核となる施設にしたいと考えていますので、応援して頂ける企業をお待ちしています。また、整備面や利用計画、運営方法等について、企画提案などでご支援頂ける企業を募集します。

寄附申出書の事業名選択時は「地域資源を活かした「しごと」づくり」を選択してください。

重点プロジェクト

令和2年7月豪雨からの復興「球磨村遊水地運動公園」整備事業

総事業費

500,000,000(概算) 寄附目標額 —

数値目標

●野球場利用者 …………… 3千人(年間)
●グラウンドゴルフ利用者…… 1千人(年間)

〈SDGs〉関連するゴール



球磨村は、令和2年7月に大規模な豪雨災害が発生したことで、村のスポーツ振興の拠点であった総合運動公園に仮設住宅を建設しました。現在も仮設住宅の利用が続いており、スポーツを楽しむ場所が無い状況となっています。

このようなことから、本村では、国が整備する遊水地の中に運動公園を整備し、新たなスポーツ振興の場として利用する計画としています。遊水地運動公園では、野球、ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフを楽しめる予定です。



渡遊水地及び遊水地運動公園整備予定地

寄附の具体的なメリット

感謝状の贈呈式(30万円以上)。施設への寄付企業ネームプレートの設置(100万円以上)。広報紙・ホームページでの企業名公表。賑わいづくりの核となる施設にしたいと考えていますので、応援して頂ける企業をお待ちしています。また、整備面や利用計画、運営方法等について、企画提案などでご支援頂ける企業を募集します。

寄附申出書の事業名選択時は「村民が住み続けたいくなる、魅力ある「むら」づくり」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。